

良質な木のおもちゃで多様な遊びと体験機会を提供する 「おもちゃ美術館」の整備を開始します！

大府市は、遊びと体験を通じてこどもたちの創造力と豊かな感性、主体性を育む場を創出し、天候に左右されることなく、屋内で安全に遊ぶことができる施設として、特定非営利活動法人芸術と遊び創造協会が運営する「東京おもちゃ美術館」のコンテンツを取り入れた「おもちゃ美術館」を整備します。

なお、関連費用については、6月議会で補正予算案を上程する予定です。

■ 「おもちゃ美術館」整備の背景

○ 創造力と感性の養成 と 市の文化・産業の伝承

大府市は、令和5年8月に策定した「おおぶこども輝く未来応援八策」において、多様な遊び、文化芸術・スポーツを通じて創造力と豊かな感性を養う「こどものための屋内遊戯施設」の整備を位置付けています。

○ 水源地の森林の保全・育成 と SDGs の推進

令和5年7月に長野県王滝村・木曾町と「水源の森林の保全・育成に関する連携協定」を結び、現在、こどもたちが人と木と森との関わりを学び、木特有の木目・手触り・重さ・音・香りなどを五感で感じながら、創造力と感性を養う「木育」を推進しています。

○ 安心・安全な居場所づくり と ソーシャルインクルージョン

近年、温暖化の影響により、こどもの熱中症リスクが高まり、市民からは、天候に左右されることなく、屋内で安全に遊ぶことができる場を求める声が寄せられています。また、障がいの有無などに関わらず、誰もが安心して遊べる環境も、全国で広がっています。

■ 「おもちゃ美術館」の整備について ※ 詳細は、参考資料のとおり

基本理念／見る、触る、感じる「遊びと体験」を通じてこどもたちの創造力と豊かな感性、主体性を育む場の創出

主な機能

	機 能	内 容
1	五感で木の温もりを感じられる場	木製の良質なおもちゃ・木質空間の整備、水源地の木材活用
2	多様な遊び・体験ができる場	大府市の特色を生かした遊具（バイオリン、ぶどう）、木工ワークショップ
3	誰でもいつでも過ごせる場	全天候型屋内遊戯施設、インクルーシブな環境子育て家庭の居場所

■「おもちゃ美術館」整備関連費用（6月補正予算）

内容／おもちゃ美術館整備・運営計画策定業務委託

施設候補地／大府市横根町狐山 97-3（大府市デイサービスセンターを改修）

補正予算額／歳出 12,947,000 円

■整備スケジュール

年度	事業概要
令和6年度	おもちゃ美術館整備・運営計画策定業務委託【6月補正】 駐車場用地交渉
令和7年度	実施設計
令和8年度	改修工事、駐車場整備工事、玩具等制作
令和9年度	開館（4月）

「おもちゃ美術館」について

特定非営利活動法人芸術と遊び創造協会が展開する「おもちゃ美術館」は、郷土の自然や文化と遊びが融合した交流型ミュージアムです。「家族を中心とした多世代交流」・「森林文化の継承と木育推進」・「市民性創造と地域コミュニティの形成」をコンセプトとして官民間わず、様々な組織が設立・運営を行い、2023年時点で全国12館の美術館が誕生しています。

■参考資料

- ・「おもちゃ美術館」の整備について
- ・木曾おもちゃ美術館 パンフレット

【問い合わせ先】

大府市健康未来政策課

担当：村田 卓也（ムラタ タクヤ）、堤 友香（ツツミ ユカ）

電話：0562-85-3232 FAX：0562-47-7320 メール：k-mirai@city.obu.lg.jp

1. 施設整備の背景

- 本市は、令和5年8月に「おおぶこども輝く未来応援八策」を策定し、こども・子育ての基盤となる「梁」の施策のひとつである「多様な遊び、文化芸術・スポーツを通じて創造力と豊かな感性を養う」ため、「こどものための屋内遊戯施設」の整備検討を位置付けています。
- 国が令和5年12月に閣議決定した「こども大綱」では、地方公共団体に、地域資源を生かした遊びや体験の機会・場を意図的・計画的に創出することが求められており、特に幼児期は、生涯にわたるウェルビーイングの基盤となる最も重要な時期とされています。
- 本市は、長野県王滝村及び木曾町との「水源の森林の保全・育成に関する連携協定」を契機に、こどもたちが人と木と森との関わりを学び、木特有の木目、手触り、重さ、音、香りなどを五感で感じながら、創造力と感性を養う「木育」の取組を推進しているところです。
- 近年、温暖化の影響により、こどもの熱中症リスクが高まる中、市民からは、天候に左右されることなく、屋内で安全に遊ぶことができる場を求める声が寄せられています。また、障がいの有無などに関わらず、誰もが安心して遊べる場づくりも、全国で広がっています。

2. 施設の基本理念、基本機能



3. 施設整備の方向性

基本理念及び基本機能を実現するため、特定非営利活動法人 芸術と遊び創造協会が運営する「東京おもちゃ美術館」のコンテンツを取り入れた「おもちゃ美術館」を整備します。整備に当たっては、本市の特色ある文化・産業や、SDGsの理念を内装・遊具等に反映し、本市のオリジナリティのある施設を目指すとともに、遊びの中で自然に学び、理解を深めることができる施設としていきます。

また、既存の子育て支援施設との連携を図るとともに、施設を運営する人材の育成に取り組めます。



施設イメージ（木曾おもちゃ美術館webサイトより）

4. 施設候補地

東京おもちゃ美術館は、廃校となった校舎を改修して運営するなど、元の施設の紡いできたレガシーを継承し、新たな歴史につなげています。

本市においても、令和6年度をもって廃止される市デイサービスセンターを改修し、木が多様に活用された既存施設の有効活用を図ります。



大府市デイサービスセンター 正面玄関前

5. スケジュール

年度	事業概要
R6年度	○おもちゃ美術館整備・運営計画策定業務委託【6月補正：12,947千円】 ・木育キャラバン ・駐車場用地交渉、用地買収
R7年度	・実施設計
R8年度	・改修工事 ・駐車場整備工事 ・玩具等制作 ・ウッドスタート宣言
R9年度	・開館（4月）